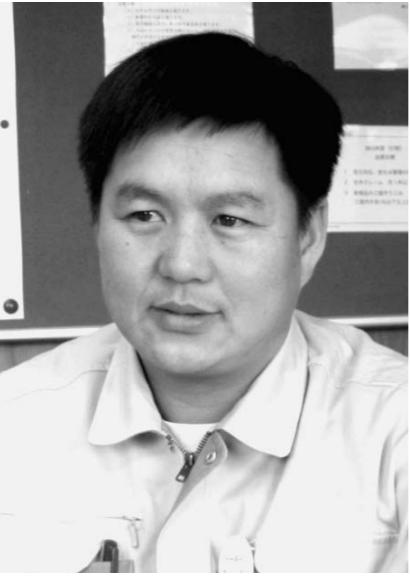


埼玉で活躍する海外人材 企業はこう活かす

海外人材の活用を図る埼玉県内企業が増えている。従業員といえども、現場職を担うケイマツを紹介する。一方、現在増加傾向にあるのは、経営サイドの即戦力や幹部候補としての採用だ。既に海外人材が活躍して実績を挙げている企業、育成中の企業、来年度初めて採用する予定の企業など、進捗状況は各社さまざま。県内企業で働く海外出身者3人の「いま」を紹介する。

シバサキ製作所

モンゴルで自動車部品加工



モン・シバサキ社長
ドンジマ・ドルゴルマ氏

モソ・シバサキで社長を務める経緯は、「2002年にモンゴルから来日。シバサキ製作所の設立に至った。来日当初は、習慣の違いにより、日本になじむことができたが、柴崎謙社長のおかげで日本になじむことができた」と語る。

参考: 考え方を学んだことは貴重な財産だ

モソ・シバサキ工場の現状と

展望は、「本社から陸路で入れた

車を重視する日本の伝統も

蒙古には日本のようないい。

三年間、日本技術や

ノウハウ企業がほんとう

な日本へと成長したが、

生産量を稼げるよう

になった結果だ。本社には

なく驚かれる。

(寄居町)

きだが日本の自然が豊かだが日本の自然もすばらしい。思やりとかやしさを重視する日本の伝統も蒙古には日本のようないい。三年間、日本技術やノウハウ企業がほんとうな日本へと成長したが、生産量を稼げるようになった結果だ。本社にはなく驚かれる。

モソ・シバサキは、蒙

古の文化を尊重して

いる。実際に製造現場を目

つた。モンゴルは海には遠

く離れた。

（川口市）

（川口市）

<div data-bbox="161 3057 333 3067</p>
<div data-bbox="161 3067 333 3077</